

伊良湖

基礎データ

【人口】939人(H21.7.31現在)

【世帯】277世帯(H21.7.31現在)

【面積】約560ha

【公共施設】伊良湖小学校・伊良湖港・「道の駅」伊良湖クリスタルポルト・伊勢湾海上交通センター

【名所・旧跡】伊良湖岬灯台・恋路ヶ浜・伊良湖海水浴場・日出の石門・恋人の聖地・万葉の歌碑・椰子の実記念碑・芭蕉翁之碑・糟谷磯丸園地・東大寺瓦窯跡・宮山原始林

【主な産業】農業・観光業・水産業

●恋路ヶ浜

校区の概要

伊良湖校区は渥美半島の先端に位置し、三方を風光明媚な太平洋・伊勢湾・三河湾に囲まれ、島崎藤村の叙情詩「椰子の実」のモチーフとなった恋路ヶ浜や、太平洋の荒波で浸食され中央に穴の開いた日出の石門、鎌倉時代に東大寺大仏殿再建の瓦を焼いた東大寺瓦窯跡などの名所・旧跡を有し、歴史とロマン、そして豊かな自然環境に恵まれた地域です。

花き・トマト・メロンなどの施設園芸が盛んで、温室やビニールハウスが建ち並んでいるほか、海の玄関口である「道の駅」伊良湖クリスタルポルトもあり、県内外から海水浴やトライアスロン大会、菜の花まつりなどで多くの観光客が伊良湖岬を訪れています。

●花やトマト・メロンを栽培する温室団地



白砂青松・恋路ヶ浜

岬の先端に位置する白垂の灯台・伊良湖岬灯台から太平洋に面

する日出の石門までの約1kmの砂浜・恋路ヶ浜は、「白砂青松」「音風景」「渚」など「日本の100選」に選ばれています。

しかし、近年、伊良湖岬周辺では松枯れや自然災害により自然景観が悪化し、その影響は農業や観光にも及んでいます。そこで、平成19年度から、白い砂浜や青々とした松原の美しい海岸を守り、緑豊かな地域を取り戻すため、市から松の苗木の提供を受けて、校区一丸となり、小学生からお年寄りまでが植樹を行っています。

●「大きくなあれ」と願いを込めて松を植樹



漁夫歌人・糟谷磯丸

江戸時代末期に伊良湖村で生まれた糟谷磯丸は、初めは一漁夫で読み書きができませんでしたが、母の病気全快を願い、伊良湖神社に日参するうちに参詣人の詠む古歌に心を引かれ、歌を詠むようになりました。生涯に数万首を詠み、その素朴な歌は多くの人に愛され

ました。平成17年には「道の駅」伊良湖クリスタルポルトから伊良湖岬灯台へと続く遊歩道の縁石に、選歌された61首が刻まれました。また、伊良湖小学校では、児童が学芸会で糟谷磯丸を演じ、拍手喝采を浴びています。

●歌を楽しみながら散歩できる遊歩道



由緒ある祭「おんぞ祭」

伊勢神宮と深い関わりをもつ「おんぞ祭」は、三河で生産された蚕の糸を織って伊勢神宮に御衣(おんぞ)料として献じたことが始まりといわれ、毎年4月の第3日曜日の祭礼日には、参道に露店や植木市がずらりと並び、参拝者や観光客でにぎわっています。

●参拝者らでにぎわう参道

